

<b>チアメトキシサム水溶剤</b> <b>アクタラ顆粒水溶剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> シンジェンタ  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ
<b>成分：</b> チアメトキシサム〔ネオニコチノイド系〕……………10.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩〔PRTR・1 種〕……………1.0%	<b>性状：</b> 類白色水溶性細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- アクタラ粒剤 5 の項参照。
- 葉裏の隅々まで行き渡る効果で、隠れた害虫も逃がさない。
- 葉面吸収率が良く、効果が安定、耐雨性に優れている。
- 溶けやすい新タイプの顆粒水溶剤で、粉立ちも少なく、作物の汚れもほとんど見られない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- きくで灌水チューブを利用して本剤を処理する場合は、薬剤が圃場内に均等に処理できるように処理水量を調節し、製剤として10 a 当り 300 g を処理する。液肥混入装置を利用して本剤を処理する場合は一次希釈液の希釈倍数が30 倍より薄い濃度になるように注意する。
- ばれいしょに対して希釈倍数750 倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。
- 茶でチアメトキシサムを含む農薬を使用した場合は、同一茶期内では本剤を使用はしない。
- かんきつ（苗木）に本剤を用いる場合は、今期に収穫見込みのない苗木に対して使用する。
- かんきつ（苗木）に主幹部に吹きつけて使用する場合は、次の点に注意する。

○使用量は主幹の直径（接木部より上約10 cm の箇所）により調整する。

10 倍希釈

主幹部直径 2 cm 以下 樹当り 10 ml  
 主幹部直径 2 ～ 3 cm 樹当り 10 ～ 50 ml  
 主幹部直径 3 cm 以上 樹当り 50 ～ 100 ml

25 倍希釈

主幹部直径 2 cm 以下 樹当り 20 ml  
 主幹部直径 2 cm 以上 樹当り 20 ～ 100 ml

- グアバ（果実）に使用する場合は、葉を食用に供しない。
- 共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - 受粉促進を目的としてミツバチ及びマルハナバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
- 共通注意事項 7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- ミツバチを導入する場合、処理後42 日目以降から導入する。
- つまみ菜、間引き菜には使用しない。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空袋は適切に処理する。
- 共通注意事項 6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。





作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チアマトキサムを含 む農薬の総使用回数			
かんきつ	ゴマダラカミキリ成虫	2000～ 4000倍	200～ 700ℓ	14日前 まで	3回以内	散布	3回以内			
	アブラムシ類	3000倍								
	コナカイガラムシ類 ミカンハモグリガ コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンバエ成虫	2000～ 3000倍								
	アザミウマ類 ロウムシ類 カメムシ類 ミカンバエ幼虫 ミカンキジラミ	2000倍								
	かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ アブラムシ類 ゴマダラカミキリ				10倍 25倍		樹当り 10～100ml 樹当り 20～100ml	春芽・夏芽 又は秋芽 の発生前	主幹部 に吹き つけ
	きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類				3000倍		100～ 300ℓ	3回以内	
メロン	ミカンキイロアザミウマ	2000倍	150～ 300ℓ	前日まで		4回以内 (粒剤の処 理は1回以 内、散布は 3回以内)				
	アブラムシ類	3000倍					7日前 まで	3回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 散布は3回 以内)		
すいか	ミナミキイロアザミウマ	2000倍	100～ 300ℓ	前日まで		2回以内				3回以内 (粒剤の処 理は1回以 内、散布は 2回以内)
	アブラムシ類	3000倍					3回以内	4回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 散布は3回 以内)		
にがうり	ワタアブラムシ	2000倍	100～ 300ℓ	前日まで		3回以内				4回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 散布は3回 以内)
食用へちま	アブラムシ類						2000倍	100～ 300ℓ		
トマト	コナジラミ類	2000倍	100～ 300ℓ	前日まで		3回以内				4回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 散布は3回 以内)
ミニトマト							2000倍	100～ 300ℓ		
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	3000倍	2000倍	3回以内		4回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 散布は3回 以内)				
	ミナミキイロアザミウマ マメハモグリバエ テントウムシダマシ類	2000倍					3回以内	4回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 散布は3回 以内)		
ピーマン	アブラムシ類 コナカイガラムシ類 マメハモグリバエ	3000倍								

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チアメトキシムを含む 農薬の総使用回数
し し と う	アブラムシ類 コナカイガラムシ類 マメハモグリバエ	3000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時の 植元処理は 1回以内、 散布は3回 以内)
とうがらし類 (ししとうを除く)				3日前 まで			
キ ャ ベ ツ	アブラムシ類	100倍	セル成型 育苗トレイ 1箱または ペーパー ポット1冊 (30×60cm・ 使用土壌 約3～4 ℓ) 当り0.5 ℓ	育苗期 後半	1回	灌注	4回以内 (定植時ま での処理は 1回以内、 定植後の散 布は3回以 内)
は く さい							
ブロッコリー		3000倍		3日前 まで	3回以内		4回以内 (育苗期の 株元散布は 1回以内、 散布は3回 以内)
カリフラワー				前日まで			
		2000～ 3000倍		7日前 まで		散布	3回以内 (は種時の 作条混和は 1回以内、 散布は2回 以内)
だい こん							
非結球あぶらな科 葉 菜 類 (こまつな、ケール、 チンゲンサイ、 のぎわなを除く)		2000倍		100～ 300 ℓ	3日前 まで	2回以内	2回以内
こ ま つ な の ぎ わ な							3回以内 (は種時の 作条混和は 1回以内、 は種後は2 回以内)
チンゲンサイ	3回以内 (定植時の 作条混和は 1回以内、 散布は2回 以内)						

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チアメトキシムを含む農薬の総使用回数
か        ぶ	アブラムシ類	3000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の 全面土壌混 和は 1 回以 内, 散布は 3 回以内)
ね        ぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	1000 ～ 2000 倍		3 日前 まで			4 回以内 (定植時まで の処理は 1 回以内, 定 植後の処理 は 3 回以内)
わ    け    ぎ		2000 倍					4 回以内 (植付時の 作条混和は 1 回以内, 植付後は 3 回以内)
ばれいしょ	ナストビハムシ	100 倍	10 ～ 20 ℓ	植付時	1 回	植溝内 土壌散 布	4 回以内 (植付時の 処理は 1 回 以内, 植付 後は 3 回以 内)
	アブラムシ類	100 ～ 150 倍	20 ℓ				
		750 倍	25 ℓ	14 日前 まで	3 回以内	散布	
		3000 倍					
	テントウムシダマシ類 ナストビハムシ	2000 倍					
やまのいも	アブラムシ類	3000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前 まで	2 回以内	散布	4 回以内 (粒剤の処 理は 1 回以 内, 散布は 3 回以内)
未成熟とうもろこし							
だ    い    ず え    だ    ま    め	アブラムシ類 カメムシ類						
いんげんまめ	アブラムシ類	2000 倍	前日まで	3 回以内	3 回以内 (は種前の 塗沫処理は 1 回以内, は種後は 2 回以内)		
さやいんげん			開始 7 日前 まで				
実えんどう			14 日前 まで				
エ    ン    サ    イ			前日まで				
オ    ク    ラ							
レ    タ    ス							

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チアメトキシムを含む農薬の総使用回数	
しゅんぎく	アブラムシ類 ナモグリバエ	2000 倍	100～ 300 ℓ	14 日 前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時の 作条混和は 1 回以内、 散布は 3 回 以内)	
しそ	アブラムシ類	3000 倍		7 日 前 まで	2 回以内		2 回以内	
うこぎ				3 日 前 まで				
セージ	コナジラミ類			21 日 前 まで	3 回以内		3 回以内	
にら	ネギアザミウマ			14 日 前 まで				
モロヘイヤ				7 日 前 まで				
アスパラガス				前日まで				
ほうれんそう				アブラムシ類 ウリハムシモドキ	3 日 前 まで			2 回以内
みょうが (花穂)	コナカイガラムシ類	2000 倍		前日まで	3 回以内		散布、但し 花穂の発生 期にはマル チフィルム被 覆により散布 液が直接花 穂に飛散し ない状態で 使用する	3 回以内
みょうが (茎葉)				みょうが (花穂) の 収穫前日 まで 但し、 花穂を収 穫しない 場合に あつては 開花期終 了まで				
てんさい	テンサイトビハムシ	50～ 200 倍	ペーパー ポット 1 冊 当り 1 ℓ (3 ℓ /m <sup>2</sup> )	定植前	1 回	苗床 灌注	5 回以内 (種子への 処理は 1 回 以内、苗床 灌注は 1 回 以内、散布 は 3 回以 内)	
	カメノコハムシ	50 倍						
	アブラムシ類	100 倍						
	テンサイモグリハナバエ	100～ 200 倍						
		アブラムシ類	3000 倍	100～300 ℓ	7 日前まで	3 回以内		散布

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む 農薬の総使用回数
茶	チャノキイロアザミウマ	2000倍	200～ 400 ℓ	摘採7日前 まで	1回	散布	1回
	チャノミドリヒメヨコバイ	2000～ 3000倍					
	コミカンアブラムシ ツマグロアオカスミカメ	3000倍					
花き類・観葉植物 (宿根アスター、 トルコギキョウ、 きくを除く)	ミカンキイロアザミウマ	1000倍	100～ 300 ℓ	発生初期	6回以内		6回以内
	ハモグリバエ類	2000倍					
宿根アスター トルコギキョウ	ミカンキイロアザミウマ	1000倍					
	ハモグリバエ類 コナジラミ類	2000倍					
き く	ミカンキイロアザミウマ	1000倍					
	ハモグリバエ類						
つつじ類	ツツジゲンバイ	2000倍	200～ 400 ℓ		5回以内		5回以内

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チアメトキサムを含 む農薬の総使用回数
き く	ミカンキイロアザミウマ ウスモンミドリカスミカメ	300 g	300 ～ 1000 ℓ	発生初期	6 回以内	灌水チュー ブを用いた 灌注処理	6 回以内